

2021年4-6月期 GDP 2次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森崎孝)は、内閣府より9月8日(水)に公表予定の2021年4-6月期のGDP速報(2次QE)について予測を行いました。

2021年4-6月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.6%(年率+2.3%)と予測します。

2021年4-6月期の実質GDP成長率は、季調済前期比+0.6%(年率+2.3%)と、1次速報値(同+0.3%(年率+1.3%))から上方修正を予測する。

上方修正の最大の要因は、デフレータの推計ベースとなる消費者物価指数の基準年の変更(2015年基準から2020年基準)が、2次QEから反映されることである。この反映により、民間最終消費支出および政府最終消費支出のデフレータが下方修正され、それぞれ実質の伸びが上方修正されると予測する。

そのほか、民間企業設備は、1次QE時点の同+1.7%から変更なしを予測する。法人企業統計調査における4-6月期の民間企業設備は前期比の増加率が拡大しており、1次QE時点の推計値並みの伸びを見込む。民間在庫変動は、原材料在庫の上振れから、寄与度で+0.1%ポイントの上方修正を予測する。公的固定資本形成は、2021年6月の公共工事出来高の上振れを受けて、同▲1.3%と1次QE時点の推計値を上回ったとみる。

図表 2021年4-6月期 GDP 2次速報 予測結果

単位: 断りがない限り 季調済前期比 (%)		2021年		1次QE比 修正幅 (%ポイント)
		4-6月期 1次QE実績	4-6月期 2次QE予測	
実質GDP		0.3	0.6	0.3
	季調済前期比年率	(1.3)	(2.3)	(1.0)
民間最終消費支出		0.8	1.2	0.4
民間住宅		2.1	2.1	0.0
民間企業設備		1.7	1.7	0.0
民間在庫変動	寄与度	▲0.2	▲0.1	0.1
政府最終消費支出		0.5	0.6	0.1
公的固定資本形成		▲1.5	▲1.3	0.2
財貨・サービスの輸出		2.9	2.9	0.0
財貨・サービスの輸入		5.1	5.1	0.0
内需	寄与度	0.6	0.9	0.3
民需	寄与度	0.6	0.9	0.3
公需	寄与度	0.0	0.1	0.1
外需	寄与度	▲0.3	▲0.3	0.0
名目GDP		0.1	0.1	0.0
	季調済前期比年率	(0.2)	(0.5)	(0.3)
GDP デフレータ	前年同期比	▲0.7	▲0.9	▲0.2
国内需要 デフレータ	前年同期比	0.6	0.4	▲0.2

出所:実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済センター 田中康就 綿谷謙吾
電話:03-6858-2717 メール:macro-ml@mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部
メール:media@mri.co.jp
